

森林セラピー通信
森のたより
(一社)飯南町観光協会
☎76-9050

森の野点会
11月12日(土)
に、セラピーガイ
イドのレペル
アツプ講座の一
環として「森の
野点会」を開催
しました。



注)野点会とは屋外で行う茶会のこと

前半は森の中を散策し、野点会を彩る木の実や落ち葉を拾い集めました。今回は特別に、大きな野点傘や赤毛氈を森の中に用意し、特設野点会場を設けました。お茶を点てる前に、それぞれが個性豊かなオリジナル爪楊枝を作成。もちろんクロモジを削って作ります。そしていよいよお茶点て。講師に作法を教わりながらカシヤカシヤと茶先を回していきます。



上手くできると、とても細やかな泡が立ちます。そこに添えるは「和菓子工房小立神(八神)」の和菓子。道ばたで拾った「秋」を周りに散らして出来上がりです。

今回のように大掛かりな準備をしながらでも野点は簡単にできます。どのシーンでも、野外で点てるお抹茶は美味しいもの。いつもより背伸びして、森の茶会をしてみてはいかがでしょう。

手の届くところにヤドリギ

セラピーロードのあるところにヤドリギ(宿り木)があります。ヤドリギとは、樹木の上の方に丸く鳥の巣のような形状で寄生する植物です。正確には「半寄生植物」。簡単に言うと、「半分くらいは宿主となった樹木から水分と養分をもらうけど、残り半分くらいは自分でも光合成を頑張るよ」という植物です。秋も後半となつてくると木々の葉が落ち、より見つけやすいですね。かわいらしい球状の実も観察できますよ。



文化を感じるまちへ **飯南町文化協会**

事務局(教育委員会内) ☎76-3944

飯南町文化協会に加盟している団体の活動を紹介します。今月は「バイプレイヤーズ」です。

バイプレイヤーズは、ポーカー、ギター、ベース、ドラム、キーボード、ウィンドシンセサイザーの6人で活動しているフルバンドのグループです。平成15年から活動を開始し、今年で19年目を迎えます。

バイプレイヤーズの特徴は、メンバー全員が飯南町出身者か勤務者で構成している点。また、楽譜を一切使わず、課題曲の音源を耳で拾って(通称「耳コピ」)練習することにこだわっています。今では、当たり前のように音源を持ち寄って練習していますが、耳コピを始めた当初の苦労は大変なもので、今に至るまで10年近くの時間を要しました。また、リズムマシン(通称「ドンカマ」)を使用し、一定のテンポでの演奏やパソコンとの同期も心掛けています。



リハーサル後に撮った集合写真(約10年前邑南町にて)

■問合せ
本間 090-9507-0985

短歌

頓原公民館短歌教室 十一月詠草



草焼きの煙たなびく夕暮は八十路の我に力与える

安部 徳則

晩秋の東の空の群れ星の名を問う少女にそれは「すばる」と

石川 隆

一村をダムに沈めし志都の里に泪のごときコスモス揺るる

景山 サチ子

朝露はアケビの実にもと爽やかに露もしたたり人も疎らに

景山 稔

秋の陽を背に顔に受け友と二人二合たらずの大豆を拾う

景山 牧栄

コロナ禍に静かな町の活気づく飯南高校球児の粘り

片岡 千鳥

陽を受けて夫と茶を飲む縁側に蜂の羽音の聞こえて青空

塩田美代子

「じゃあまたね」帰り行く息子とハイタッチ太き厚き手の温もり残し

千葉トミエ

霜降とう季を迎えてつわぶきの鮮やかな黄色眼前に在り

本間 啓美

そう早と苦楽の一日のみ込みて令和四年を安らに過す

三上 朋子

たをやかに吊されし柿よ縁側に光り浴びつつ秋うらら

烏田 勝信

すこやかに 11月届出分
新生児 届出人 地区
渡邊ほのかちゃん 信太郎(下米島)
那須 瑠心ちゃん 貴 宏(長谷)
田中 寿ちゃん 宏 明(上赤色)

やすらやかに 11月届出分
お名前 親族 地区
三浦 幹夫様(92) 郭 亨(川西)
原田みどり様(62) 誠 (下米島)
横谷 武雄様(93) 和 邦(下米島)
小野 健二様(65) 源 貴(真木)
那須 春雄様(88) 忠 巳(敷波)
小林 旭枝様(95) 俊 二(町区)
辻 弘昭様(89) 完 二(野萱)
片岡 妙子様(96) 隆 之(町区)
朽木 宣子様(91) 博 文(谷)

たのしいな なかまはずれのない がっこう
頓原小3年 景山 弘斗さん
家族名 景山 玲児さん

標語に込められた想いをみんなで意識し、差別や偏見のない明るいまちづくりをめざしましょう。



今日の表紙

真剣な顔で相手に対峙する琴引剣道スポーツ少年団の岡田颯士さん。(来島小)
他地域の子ともたちとの試合に緊張した様子でしたが、試合が始まると果敢に攻め込んでいました。
団員にとつて、普段の練習の成果を発揮するいい機会となりました。(5ページに関連記事)

